

PALTEK

新シャーシ位置管理システムの提供開始

GPS「みちびき」で静態管理

PALTEK(横浜市港北区)がシャーシ位置管理システム「docomap Trailer」の提供を開始する。準天頂衛星システム「みちびき」のサブメートル級の測位補強サービス(SLAS)を活用し、トレーラシャーシなどの静態管理を行えるサービスで、今年10月からの量産受注開始を予定する。また、サービス提供の開始にあたり、同社ではトライアルユーザーを募集している。

既存港湾部でのシャーシなどの駐車管理は、管理人が目視で駐車位置の確認を行い、トラック運転手に駐車番号と車両番号を記載した手書きの札を渡すケースが多い。しかし、広い駐車場での位置管理は間違いが起りやすく、シャーシなどが指定の場所に駐車されていない場合は、トラック運転手が管理人と一緒にコンテナを捜索する必要がある。配達期限などの制限のある輸送案件の場合、このような時間ロスは極力減らすことが求められている。

「docomap Trailer」は、ドコマップジャパンが開発したGPS端末を車両に取り付けて車両の位置情報がシステムに記録される「Docomap GPS」と、PALTEKのグループ会社・エクスプローラが開発した準天頂衛星システム「みちびき」のSLASを活用している。シャーシなど車両の静態管理ができる測位ユニットを、ドコマップが提供する「DoCoMAP」上で確認できるもの。「docomap Trailer」を活用することで、シャーシの輸送時に発生する駐車場での捜索時間や順番待ち時間の削減といった物流業界でのトラック運転手の負荷軽減が可能となる。



地図画面表示

トラクターヘッド運転席部分に取り付けた「DoCoMAP GPS」端末から得られる動態情報、トレーラシャーシに設置した測位ユニットからの静態情報を、GPS車両位置情報管理システム「DoCoMAP」のアプリにて一括で簡単に確認することができる。

具体的には、専用スマホアプリで端末番号を選択すると位置を表示する。事前に駐車場と位置情報を設定すれば、イラストマップで駐車場番号を表示可能。専用アプリは月額制でカスタマイズも可能だ。専用アプリではメンテナンス日程が近づいたコンテナの位置を表示するほか、同じ駐車場に停車している日程をカウントしてアラーム表示する。コンテナがどの港にあるか確認できるとともに、駐車場のコンテナ位置をスマホで表示することによりコンテナを探

す時間を大幅に削減できる。

コンテナやシャーシに取り付けた測位ユニットは、そのまま1年程度の電池駆動を実現。加えて、既存の測位方法では10m以上の誤差が生じるが、SLASを活用することでより正しく駐車位置を確認することができる。

ドコマップの浦嶋一裕社長は、「docomap Trailerでは、これまで小型GPS端末への電源供給が困難であったトレーラへの搭載が可能になることで、切り離された車体はどこに駐車されているのかが確認できる“静態管理”が可能となる。これまでの小型GPS端末を利用した動態管理と、今回の静態管理機能がDoCoMAPプラットフォームにて同時に利用可能となることで、利用者へより高度な車両動態管理ソリューションをご提供できると確信している」としている。

一方、PALTEKでは「docomap Trailer」のトライアルユーザーを募集している。Webサイト (https://www.paltek.co.jp/solution/fleetmng/list/docomap_trailer/index.html) 内から申込み可能で、1社1回5ユニットまで、トライアル日数は設置から10日程度となっている。